

彌永 ゆり子 個展

IYANAGA Yuriko solo exhibition

IMG://shape/weightless/

KUNST ARZT では4年ぶり3度目となる
 彌永ゆり子の個展を開催します。
 彌永ゆり子は、パソコンでの描画過程を映すモニターと
 その「フレーム」的役割のオブジェとの構成で
 独自の絵画世界を展開するアーティストです。
 前回の個展の時点で形式化していたベニア板に描いた
 「額」でTVモニターを取り囲むことから脱し、
 現在はLEDモニターが基盤むき出しのまま提示され、
 「フレーム」的役割のオブジェとのコラージュ構成です。
 古いペイントソフトでベタに描き出す低解像度なアナログ要素、
 描画過程という絵画にはありえない“時間”、あえてチープさを出す
 「フレーム」……。真摯に「絵画」表現に向き合うことで、
 逆に「絵画」から逸脱し続ける表現にご注目ください。
 (KUNST ARZT 岡本光博)



childhood dream #2
2018

経歴

1991年 神奈川県生まれ
 2016年 京都市立芸術大学 美術学部 美術科 油画専攻 卒
 2018年 京都市立芸術大学 修士課程 美術研究科 油画専攻 修了

個展

2016年 Entity-Painting KUNST ARZT
 2017年 イメージズオアペインティングス KUNST ARZT
 2018年 "where are you?where am i," YEBISU ART LABO (名古屋)
 2018年 'digital paintings' ギャラリー揺

グループ展ほか

2017年 ウォーホル美術 KUNST ARZT
 2018年 京都市立芸術大学作品展 京都市立芸術大学
 2018年 思考する視線 2018 MEISEI
 2019年 京都府新鋭選抜展 京都文化博物館
 2019年 むこう大宮オープンスタジオ STUDIO 洪オーミヤ

受賞歴

2019年 京都府新鋭選抜展一 読売新聞社賞受賞

2020年4月28日(火)から5月3日(日)

12:00から18:00

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

* 2020年4月28日(火)から5月3日(日)に開催予定だった展覧会ですが、
 コロナ禍で延期し、バージョンアップして開催します。

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

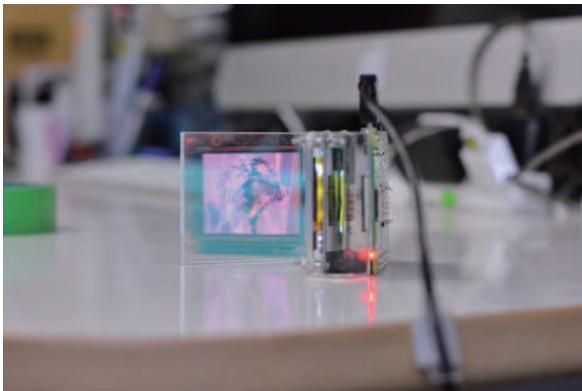
kunstarzt@gmail.com

IMG://shape/weightless/

アーティストステートメント

わたしにとって、コンピューターで描くということは幼少の頃から描画手段のひとつだった。暇があればパソコンで絵を描いたり、ドット絵のアイコンを作ったり、ホームページをつくったり、子供の頃はそんなことがすごく面白かった。なぜ、あんなにも夢中になれたのか。今ではスマートフォンも普及して、デジタル機器はより身近になっている。iPadがあれば、アナログの手段で描いたようなリアルな質感の絵を描くこともできる。でもそこに、今の私はあまり魅力を感じていない。今でもやっぱり、解像度の低さ、チープさにときめくし、その質感で描いていきたいと思っている。

現在、パソコンで描いた絵を作品として扱うにあたって、どうするのが一番いいのかを探り続けている。最初はモニターにハリボテの額縁で額装するところから始めたが、最近は基板むき出しの状態で見せたり、百貨や雑貨店などでチープなものを買って集めてきてはコラージュのように画面と組み合わせたりして作品にしている。チープなものは、デジタルで描いた絵とけっこう親和性があるように感じている。いい意味で軽やかで安っぽく、魅力的であるようなもの。自分がデジタルに感じている魅力を凝縮したみたいなもの。そういうものを作っていきたい。



pegasus(lf#6)
2019
映像、アクリルスタンドにホログラムシート、
Raspberry Pi、2.4インチLCDモニタ
Photo by Kaneda Kintaro



not here but here (lf#5)
2019
映像、アクリル板、
Raspberry Pi3台、
4.3インチLCDモニタ、
1.8インチLCDモニタ、
1.44インチLCDモニタ
1702 × 1205 × 600 mm



downtown
2018
映像、Raspberry Pi、5インチTFTモニタ